

Social Innovator's Session

第1回：2023.5.14 Sun.

社会課題を事業で解決する

～ポートフォリオアントレプレナーとしての歩み～

開催内容

セッション 13:30～15:30

交流会 15:30～17:30（軽食付き）

参加費・定員

無料 / 30名（先着順）

申込み

締切：2023/5/10（水）

https://urban-ii.or.jp/events/detail.php?event_id=523

会場

公益財団法人都市活力研究所
グランフロント大阪 タワーC 7階



第1回講師

株式会社アーテラ代表取締役
神戸大学 客員教授

佐藤正和氏

ソーシャルイノベーターズセッションとは

イノベーターの歩みを自分史として紐解きながら、それが事業として、またはソーシャルアクションとなっていく過程を皆さんと共有するセッションです。

そのアクションはどのようなもので、自分以外のどんな人を幸せにしようとしているのかをイノベーターの実際の活動内容や事業内容の説明を交えながら参加者の「第一歩」のための「誰のため」「どんな行動」を考えるきっかけとします。

セッション120分のあと、アフターセッションとしてイノベーターや参加同士の交流会を設けています。ソーシャルインパクトマネジャーの今田大介氏がファシリテーターを務め、イノベーターと皆さんとの対話によって進めていくセッションです。

主催：公益財団法人都市活力研究所

セッション内容

10代から現在に至るまで大小20の事業やプロジェクトを立ち上げてきた佐藤さん。ご自身の原体験から予防医療の取り組み、インドにおける貧困地域での文化交流など、事業家としてビジネスを進めながら同時に国内外の社会課題解決にも挑戦してきました。

現在は日本茶業界の地域課題（茶葉価格の低迷・生産者廃業・茶産地減少など）の解決に取り組んでいます。

ペットボトルと全く異なる次世代飲料（各産地茶との共創ボトリングティ）に取り組むとともに、健康増進・ウェルビーイング・海洋汚染・家畜の病害などの社会課題に対しても「お茶を科学する」ことで挑戦しています。

また、日本を代表する芸術文化である茶道に対しても現代化に取り組み「茶道」の美意識・意味を再定義。地域の技術や固定観念を崩すモダンな茶道具やカジュアルな作法の開発に着手。新しい「茶道の意味」の醸成にも日々取り組んでいます。

そんな佐藤さんが社会課題をどう捉え向き合っているのかを佐藤さんの起業の歩みを振り返りながら「第一歩」を考えるセッションです。

講師

佐藤正和 氏

株式会社アーテラ 代表取締役
神戸大学 客員教授



これまで約20分野での創業・事業化、M&A・IPOを経験するポートフォリオアントレプレナー。2016年からは日本茶業界に身を置き様々なイノベーション・事業承継に取り組む。

①抹茶の魅力をさらに高めるために宇治抹茶卸流通トップの北川半兵衛商店（京都）との共創により誕生したブランド「祇園 北川半兵衛」のプロデュース。

②抹茶以外の日本茶の価値を高めるためにベネフィッティ（静岡）とは次世代飲料であるボトリングティの共同開発や出廻らし・耕作放棄茶葉の再活用に取り組む。

③茶道界や抹茶スイーツで著名な祇園辻利（京都）とは茶道のモダン化・アート化を目指した新文化形成など日本茶全般に関するイノベーション促進に取り組む。

また、大学・大学院等でイノベーション、アントレプレナーシップ領域で教鞭をとり、教育者歴は20年に及ぶ。専門は「アート思考」「エフェクチュエーション」「M&A」。

ファシリテーター

今田大介 氏

ソーシャルインパクトマネジャー



複数の自治体でSDGsのアドバイザーを務める。

尼崎市では電子地域通貨「あま咲きコイン」の「SDGsポイント」「SDGsサポーター制度」を考案。

尼崎市課題解決型ソーシャルビジネスコンペでSDGsに対応した事業にて市長賞を受賞するなどソーシャル分野・SDGs分野をメインフィールドとしている。

企業理念をSDGsに結びつける社会的インパクトマネジメントを活用した「Vision-Based SDGs」を提唱しSDGsに資する事業構築支援を行政・民間企業に対して行う。

MBA（経営管理学修士）、准認定ファンドレイザー。